

新幹線プレス 	2025 年 8 月 21 日		No.715
	発行者	伊 藤 一 也	
	編集者	教 宣 部	
	J R 東海 新幹線地本		

車両床下の側カウルが 走行中に落下 原因究明と再発防止策を求めて 団体交渉開催を申し入れ！

8 月 1 3 日、東京仕業検査車両所で車両床下に配置された機器を保護するための覆い（側カウル）が 1 枚取り付けられていないことが発見されました。

側カウルは、同日掛川駅～静岡駅間の上り線の線路脇で発見されました。走行中に車体から外れて落下したと思われます。

側カウルはアルミ合金製で横 6 0 c m × 縦 8 0 c m × 厚さ 7 c m、重さ・約 8 . 5 k g であり、重大な事故になりかねない事態です。

新幹線地本は、8 月 2 0 日に原因究明と再発防止対策の確立をもとめて早急に団体交渉を開催することを申し入れました。

申し入れ要旨

- 事故の経過について時系列で詳細に明らかにすること。
- 当該車両の損傷状況について詳細に明らかにすること。
- 検修履歴及び作業内容の詳細について明らかにすること。
- 事故の原因について明らかにすること。
- 再発防止対策を明らかにすること。